

2026年3月吉日

皆様へ

株式会社東京ドーム

株式会社東京ドーム主催「日米ALSフォーラム」開催のご案内
～多様な声から未来を創る-今日よりも明日、一歩前へ 希望と革新が会える場所～

日頃より東京ドームシティの活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。

弊社は企業理念として「感動の共有」を掲げ、エンターテインメントを通じてお客様の笑顔にあふれた街を展開してまいりました。

人生の楽しみや生きがいを提供する企業として希望と革新が会える場所を提示することで、ALS当事者の方やそのご家族と明日への活力を分かち合いたい。その思いから、このたび「日米ALSフォーラム」を開催する運びとなりました。

開催の目的

本フォーラムは、ALS当事者、ご家族、および支援者の方々を主たる対象としております。日米の最先端の研究者と皆様が直接対話し、その声を今後の活動に活かしていくことを目的としています。

- **日米の知見の融合:** Mark Ma氏 (Regelife) や岡野栄之氏 (慶應義塾大学教授) 等をお招きし、根治に向けた最新の研究開発や支援の在り方を共有します。Mark Ma氏 (Regelife) のALS根治を目指す現在の研究内容(一部)を添付させていただきますので、当日の参考資料としてご覧頂きますと幸いです。
※Mark Ma氏 (Regelife) は機密保持の必要性から、現段階では非公開で活動を進めています。
- **「多様な声」を起点とした議論:** 日頃よりALSに向き合っている皆さんの「多様な声」を対話の軸に据え、登壇者と共に議論を深めます。
- **アクセシビリティの重視:** 視線入力等を含む多様な意思表出・入力環境を想定し、事前・当日・代行入力など複数の参加方法を用意しております。どなたもが主体的に議論に加わることができる環境を整え、皆様の参画をお待ちしております。

一人ひとりの思いや希望が尊重される社会の実現に向け、本フォーラムがその一助となれば幸いです。

つきましては、次項の開催概要をご高覧いただき、皆様お誘い合わせのうえ、奮ってご参加賜りますようお願い申し上げます。ご多忙の折とは存じますが、何卒よろしくようお願い申し上げます。

敬具

【本件に関するお問合せ先】

日米ALSフォーラム 運営事務局

所在地: 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドームシティ 黄色いビル

株式会社東京ドーム 新規事業室 (担当: 武中)

株式会社SpaceBlast コミュニケーション部 (担当: 大岩)

※参加フォームよりお問い合わせ下さいませ。

「日米ALSフォーラム」開催概要

1. 日 時 2026年3月31日(火) 13時30分 ~ 15時50分 ※受付開始は12:45予定
2. 会 場 東京ドームホテル 地下1階「シンシア」
東京都文京区後楽1-3-61
<https://maps.app.goo.gl/oLoET562Lz1oX3r96>
3. 参加申込 無料・事前登録制(最大来場者数150名予定)
※ 収容人数の都合により、お申し込みが定員に達した場合は、先着順としお断りのご連絡を差し上げる可能性がございます。
※ 以下リンクのWebフォームよりご登録ください
<https://forms.office.com/r/vBnkePKv6R>



4. プログラム

※プログラムの内容および時間は前後する可能性があります。あらかじめご了承ください。
※ご来場者の方は開演15分前までに受付を済ませ、ご入場頂けますようご協力お願い致します。

12時45分	開場・受付開始
13時30分～	開演～主催者挨拶～登壇者紹介
14時00分～	パネルディスカッション①
14時45分～	パネルディスカッション② / 質疑応答
15時40分～	クロージング
15時50分	閉会(予定)

5. 登壇者

【パネリスト】※表記は五十音順で掲載

- ・ 岡野 栄之 氏(慶應義塾大学 再生医療リサーチセンター センター長 / 教授)
- ・ Sheri Strahl氏 (President & CEO, ALS Network)
- ・ Mark Ma氏 (Regelife)
- ・ 武藤 将胤 氏 ((一社)WITH ALS 代表理事)

【司会者・モデレーター】

- ・ 平野 裕加里 氏(フリーアナウンサー / (有)LIBRA 代表)

6. 主 催

株式会社東京ドーム

7. その他

- ・当日はお車でもご来場頂け、必要な方には駐車スペースをご用意しております。
- ・会場内に呼吸器、吸引器がご利用頂けるよう電源を設置しております。
- ・当日当事者様のケアが頂けるようにケアスペースを設置しております。
- ・ご来場頂けない方のために後日アーカイブ配信も行う予定しております。
- ・当日はフォーラム中も入退場自由となっております。

-----お願い-----

本フォーラムは、当事者・ご家族・支援者等、常日頃よりALSに向き合っている皆様からの「多様な声」を通じて日米の研究者・支援者と対話し、今後の活動に活かしていくことを狙いとしております。つきましては、上記「参加申込フォーム」内の設問、もしくはフォーラム当日にご案内する「アンケートシステム」を通じて、ご質問やご意見を積極的に頂戴できますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。
※質問用のデバイスを3台をご用意しております。ご自身の端末以外からの投稿をご希望の方は、ぜひこ

ちらをご利用ください。

【本イベントにおける医療情報および研究状況の取り扱いについて】

本イベントで紹介されるRegelife社(米国)によるiPS細胞を用いたALS根本治療を目指す研究内容、およびFDA(米国食品医薬品局)への認可申請の見通しは、現時点における同社の研究進捗および計画に基づく情報です。これらは研究段階のものであり、現時点で特定の治療効果を保証するものではありません。

主催者である株式会社東京ドームは、日米の当事者・支援者・研究者が連携するプラットフォーム(場)の提供を目的として本イベントを開催します。

各登壇者による発表内容および医学的見解について、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。

掲載されている情報は、特定の医薬品、医療機器、または治療法の宣伝や勧誘を目的としたものではありません。

< 参考資料: **Regelife**社研究概要 >

Towards a Cure for ALS—Restoring Movement through Regenerative Medicine

The Challenge Regelife is Addressing

ALS is fundamentally characterized by the failure of one specific cell type: the motor neurons. These specialized cells act as the vital messenger link, carrying movement signals from the brain and spinal cord to the muscles. While traditional drugs focus on slowing this decline, Regelife is pursuing a pioneering approach: replacing these dysfunctional cells with healthy motor neurons to restore movement and achieve a fundamental cure.

Regelife's Technical Approach

- Precision Delivery: Using patented technology, regenerative cells are protected within a specialized, "jelly-like" hydrogel to ensure they are delivered accurately to the specific areas requiring replacement.
- A "Niche-Centric" Microenvironment: Once delivered, this engineered niche allows the new cells to survive and take root, supporting the body's natural healing power to rebuild essential neural networks.
- Effective Support for All Stages: Because this approach focuses on the direct replacement of lost motor neurons rather than just slowing their decline, it is designed to be applicable for individuals even with advanced symptoms.

Roadmap to Practical Use

Following successful laboratory validation, Regelife has moved into the critical phase of animal studies. These studies are essential for evaluating safety and efficacy in a living system before moving forward.

The ultimate goal is to progress to human clinical trials and pursue FDA approval within the coming years. ALS is a global challenge that requires combining knowledge across borders. We hope this event will be an opportunity to share Regelife's progress and create a dialogue where patient voices are reflected in research to improve its precision.

ALSの根本治療へー再生細胞医療による運動機能の回復

Regelifeが取り組む課題

ALSは本質的に、運動を司る「運動ニューロン」が徐々に変性・消失する原因不明の疾患です。これらの特殊な細胞は、脳や脊髄から筋肉へ運動の信号を伝える重要なメッセンジャーの役割を担っています。従来の治療薬がこの衰えの進行を遅らせることに重点を置いてきたのに対し、Regelifeは新しいアプローチに取り組んでいます。それは、機能を失った細胞を健康な運動ニューロンに置き換えることで運動機能の回復を目指し、根本的な治療の実現を目指すというものです。

Regelifeの技術的アプローチ

- ・ 高精密なデリバリー：独自の特許技術により、再生細胞を特殊な「ゼリー状」のハイドロゲルで保護し、置換が必要な特定部位へ正確に届けます。
- ・ 細胞が機能するための「微小環境」：細胞が届けられた後、この設計された「微小環境」が新しい細胞の生存と定着を助け、体が本来持つ回復力を支えながら重要な神経ネットワークの再構築を促します。
- ・ すべての段階への有効性：このアプローチは衰えを遅らせるのではなく、失われた運動ニューロンを直接置き換えることに焦点を当てているため、症状が進行した段階の人にも適用できるよう設計されています。

実用化に向けたロードマップ

Regelifeは現在、研究室での検証に成功した後、重要な段階である動物実験へと進んでいます。これは次のステップに進む前に、生体内での安全性と有効性を評価するために不可欠なプロセスです。最終的な目標は、今後数年のうちにヒトでの臨床試験へ進み、FDAの承認取得を目指すことです。

【Mark Ma氏コメント】

ALSは世界共通の課題であり、国境を超えて知恵を結集し、実用化を目指す必要があります。本イベントが、Regelifeの具体的な取り組みを共有するとともに、患者さんの声を研究開発へと反映させ、共に精度を高めていく対話の機会となれば幸いです。